

交渉速報(要旨) 申4号「冬期の取り組みに対する申し入れ」③

8. 羽越本線のトンネル内氷柱対策を明らかにすること。

会→列車巡視で列車運行に影響があれば除去する。昨年と同様である。なお除去はP会社となる。

組→今年は予算の関係から現場ではやめると言っている。

会→列車巡視の中で行なっている。現場に確認する。

9. 車両センター構内を除く箇所での車両の屋根上除雪について必要な教育・訓練を実施すること。

組→1.10 に酒田で発生した実例で議論したい。酒田で屋根上除雪は経験がなく不慣れであった。発生した以上訓練等は必要ではないか。NTS と合同で作業をしたとの報告もある。

会→頻度の問題もあるが車両課の派遣も含め基本は車両部門の社員が行う。

組→車両課の派遣と言うが場所は酒田駅構内である。酒田地区の社員で対応するしかない。車両センター構内を含めてNTS が屋根上除雪を行うことはあるのか。またJR が発注した業務をJR と合同で行うとはどうゆうことか。

会→契約上NTS が屋根上除雪を行うことはないが、酒田の事例は交渉中に確認して回答する

～確認後～

会→NTS との契約に屋根上除雪という項目は無いが、請負業務の範囲に災害のおそれがある場合や緊急やむを得ない場合という条項があり、今回はこれを適用してNTS に発注したものである。なお、車両ごとに分けて発注して除雪を行った。

10. 駅のホーム除雪について始発確保の体制及び、お客さま・乗務員からの申告を受けてからの除雪体制を明らかにすること。

組→巡回除雪とテンポラリーの駅があるが、それぞれ聞きたい

会→テンポラリーはその駅を始発前までに除雪する。巡回除雪は1パーティーが2～4駅を受け持って始発前までに最低2両分を除雪する。お客さまや乗務員からの申告があれば2週目以降から対応するとともに除雪範囲を最大両数分まで拡大していく。除雪が追いつかなければ連絡が来ることになっており、契約上足りなければ増員等の割増契約を行う。

組→いわゆる笠石1枚残しは触車防止のルールだが笠石上に雪が積み上がって乗降に影響が出た駅がある。逆に笠石までキレイに除雪されている駅もある。

会→乗降に影響があるとすれば線閉をかけて崩すことも必要。契約時の安全教育は行なっているが徹底する必要がある。

11. 越後川口駅の飯山本線の除雪を始発列車前に終わらせること。

会→始発前を目指しているが時間を要する場合もある。

組→十日町から長岡方面の始発はお客さまにとって重要な列車。飯山が終わっていても上越側に雪が寄せてある。

会→MRのやりくりを変える見直しを行った。